

ノロウイルス

風邪がはやる季節になりました。おなかをこわす感染性胃腸炎も増えてきます。

この病気の原因是、細菌、ウイルスなどによるものですが、その中でも気を付けていた病原体にノロウイルスがあります。このノロウイルスは、一年を通して発生しますが、特に冬に流行します。感染力の強いウイルスで、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に感染性胃腸炎を起こします。

今回は、ノロウイルスに関する正しい知識と予防対策などについて説明します。

感染経路

感染は口からで、ノロウイルスに感染中の人が調理した食品を食べたり、患者さんのふん便や吐いた物を処理した後、手に付いたウイルスや、不適切な処理で残ったウイルスが、口から取り込まれたり、汚染した二枚貝を生で、あるいは十分に加熱していらない状態で食べた場合に胃腸炎を引き起こします。

治療方法

吐いた物やふん便からウイルスを検出する方法がありますが、検査に数日かかり、結果が出たときには回復していることが多く、また、その検査は健康保険が適用されないので、一般的には症状・所見などを診察して判断します。

残念ながら、このウイルスに効く抗ウイルス剤はありません。症状を和らげる薬を使ったりする対症療法が中心になります。



佐伯地区医師会
奥 純一

症状

感染してから1～2日で急に発症する吐き気、嘔吐に続いて下痢、腹痛、発熱などの症状が出ますが、通常は3日以内に回復します。中には全く症状のない人や軽い症状の人もありますが、乳幼児や高齢者は症状がひどくなることもあります。

診断方法

吐いた物やふん便からウイルスを検出する方法がありますが、検査に数日かかり、結果が出たときには回復していることが多く、また、その検査は健康保険が適用されないので、一般的には症状・所見などを診察して判断します。

詳しい方法は、厚生労働省のホームページを参照してください。

症状がある人は、最後に入浴するか、シャワーのみにしましょう。

日常注意すれば、そんなに怖い病気ではありませんが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は思い当たる症状があれば、早めに医療機関に受診しましょう。

予防対策

周囲にノロウイルスに感染した人のいる環境では、手洗いが基本です。感染した人の吐いた物やふん便是マスク、エプロン、手袋を使用して処理し、後に次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。

質の補給をすることです。

薄めたスポーツ飲料もいりでしょう。嘔吐、下痢、発熱がひどい時には、点滴も必要です。